

## ベルリン市の住宅事情

市当局は、ベルリン市が最も栄えた黄金の1920年代の人口400万人を回復し町を活性化したいと願っている。

しかし、市民は、若年層を主体に庭のある暮らしを求め郊外の住宅地へ移りたがっている。

町の中のアパートの賃料は、50㎡（約16坪）で月40EUR（約6万円）である。

土地が安いこととアパートよりも広い面積の住居が得られ庭のある生活を楽しめることから郊外の住宅を求める人が多く町への人口流入が進んでいない。現在町の人口は350～360万人。

## ドイツ市民の環境意識

### ホテルで見られた良い意識



### バスルームの鏡に張ってあったシール

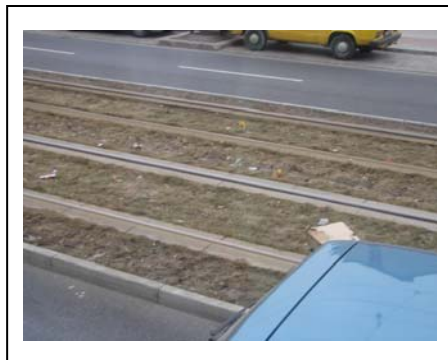
お客さまご協力ください。

タオルを床においておく「新しいタオルを下さい」の意味になります。タオルホルダーに戻してあると「同じタオルを使います」の意味になります。

環境保護のためのあなたの多大な貢献に感謝します。

あなたのベルリンエクセルシオールホテル

### 何かちぐはぐな意識



左の写真は、市内を走る電車の線路である。普通、線路内は砂利を敷き詰めたり市内であればコンクリート板で覆われて素っ気無いが、ここは芝生であった。駐車場にもブロックの隙間に芝生を植えて味気ない駐車場の地面に少しでも緑を活かし潤いの演出に努めている姿勢が良かった。（但し、残念ながら冬の芝生でみどりはなかったが・・・）

ところが、ゴミが散らかっていてとても汚いのである。

ドイツの室内は舐めても綺麗と言われる位に清掃が行き届いているらしいが、どうして外の汚れは気にならないのだろうか。

### 落書きが多すぎる



ドイツ人の落書きに対する情熱はほとんど感心する。

この写真は冷戦時代のベルリンの壁を保存しているところであるが、落書きだらけである。

高速道路に入ってフェンスにも落書きがある。危険を冒しても落書きに挑戦する情熱は我々には理解できない。